



2023年7月10日

「コーヒー豆かす×森」地域資源循環プロジェクトの4者協定を締結 大阪府、大阪府河内長野市、大阪府森林組合、スターバックス コーヒー 河内長野高向店

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社[本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口貴文]は、この度、大阪府、大阪府河内長野市、大阪府森林組合と「コーヒー豆かす×森」地域資源循環プロジェクトに関する協定を締結しました。

「コーヒー豆かす×森」地域資源循環プロジェクトは、スターバックス コーヒー 河内長野高向店でコーヒー抽出後に排出されるコーヒーの豆かすと大阪府森林組合が産出する木材チップを材料にたい肥を作り、将来的にはこのたい肥を地域の中で活用し、豊かな未来に向けた資源循環の取組みをしていきます。河内長野高向店は、「つながりを生み出す、つながりのきっかけの場所」をコンセプトに、地域のコミュニティの憩いの場となるように2021年9月に大阪府河内長野市にオープンしました。開業前から、大阪府森林組合と連携し、毎月第2木曜日をたい肥の日として、大阪府森林組合南河内支店の職員と河内長野高向店のパートナー(従業員)でコーヒー豆かすと木材チップを材料に、店舗の敷地内でたい肥づくりを行い、完成したたい肥を活用し、スギやヒノキの苗木を育ててきました。今年の3月には、大阪府、河内長野市、大阪府森林組合、河内長野高向店のプロジェクトメンバーにて、市内の山林に植林しました。この4者協定の締結を機会に、「コーヒー豆かす×森」の資源循環の活動を広げ、地域とともにより良い未来を目指して更に取り組んでいきたいと考えております。

スターバックスは、ミッションである、「人々の心を豊かで活力あるものにするために。ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」を大切に、地域社会の一員として、地域コミュニティに貢献できるように努めていきます。

河内長野高向店の取り組みは STARBUCKS STORIES JAPAN で紹介しております。

<https://stories.starbucks.co.jp/ja/stories/2023/kawachinagano20230427/>



◆ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。全世界約80のマーケットで約34,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,811店舗(2023年3月末時点、ライセンス店舗を含む)のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために—ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー(従業員)が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたたまるときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「STARBUCKS STORIES JAPAN」で紹介しております。

◆本件に関する報道関係のお問い合わせ先:

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
広報部

sbjpr@starbucks.co.jp

お客様からのお問い合わせ先 0120-336-388

※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けください
(10:00-18:00 年中無休、国際電話、IP 電話からは 03-5745-5890)